

第23回 八代市復興推進本部会議

議事要旨

日 時：令和8年10月27日（火） 13：00～14：00

場 所：八代市役所 本庁3階 庁議室

■八代市復興推進本部会議 出席者

八代市	市長（本部長）	副市長（副本部長）	教育長
	代表監査委員	市長公室長	総務企画部長
	財務部長	市民環境部長	健康福祉部長
	経済文化交流部長	農林水産部長	建設部長
	教育部長	議会事務局長	水道局長
	坂本支所長	総務企画部次長	危機管理監
熊本県	企画振興部球磨川流域復興局		

<配付資料>

会議次第

【資料1】ロードマップ【R8.9月末】

【資料2】令和8年熊本地震 八代市復旧・復興プラン（素案）

【資料3】復旧・復興プラン策定スケジュール

1. 開会

2. 市長挨拶

この復興推進本部会議は、令和2年7月豪雨災害からの復旧・復興を効果的に推進することを目的として設置し、ここ数年は「八代市坂本町復興計画」の進捗状況を主な議題として、年2回開催してきました。

令和8年熊本地震の発生を受け、今回の会議より熊本地震からの復旧・復興も新たな審議事項として加えています。

本日の議題は、従来の坂本町復興計画の進捗状況についての確認に加え、令和8年熊本地震からの復旧・復興に向けた取組についてです。依然として日奈久断層の「割れ残り」がありますので、今後想定される災害への対応も非常に重要な課題となります。

また、被害の大きかった本町アーケードや日奈久温泉、鏡町などについて、今後どのようにまちのにぎわいを再生していくのかについても、長期的な視点で考えていく必要があります。そのため、これらの課題について整理を進めていきたいと考えています。

復旧・復興には長い時間を要しますが、一日も早い実現に向け、被災された皆様に市のビジョンを早期にお示しするということが重要であります。

本プランについては、年内の策定を目指すこととしています。本日は、その素案を確認するとともに、各部長からご意見をいただきながら、市として目指す姿を改めて共有していきたいと考えています。

策定までの間にも、各部署には、市民や事業者の皆様のご意見やご要望が寄せられていることと思います。そのような声に丁寧に耳を傾けながら、被災された皆様の立場に立ち、そして八代の発展につながるようなプランを作っていただきたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

3. 議事

(1) 八代市坂本町復興計画の進捗状況（ロードマップ）について

(2) 令和8年熊本地震 八代市復旧・復興プラン（素案）について

— 主な意見 —

(1) 八代市坂本町復興計画の進捗状況（ロードマップ）について

- ・道の駅の再整備や坂本スマートインターチェンジの整備を踏まえ、坂本町の活性化に向けた取組を着実に進めてほしい。
- ・復興計画に掲げられた事業だけでなく、その先の地域の発展も見据えた取組も検討してほしい。
- ・肥薩線復旧後の人の流れを見据え、新八代駅を拠点とした交通や観光との連携を検討してほしい。
- ・道の駅を起点として、球磨川沿線のビュースポットの整備など、観光振興につながる取組を検討してほしい。

(2) 令和8年熊本地震 八代市復旧・復興プラン（素案）について

- ・上水道・下水道の早期復旧と強靱化に関して、再度災害への備えとして、前川以南の上下水道未整備地域における井戸の強靱化についても視野に入れながら検討する必要がある。
- ・今回の地震では、学校給食施設の被災により、給食提供の再開に時間を要した。給食施設の早期復旧は学校再開につながり、ひいてはなりわいの再生や住まいの再建などにも大きく関わることから、新たに整備している麦島の給食センターについては、井戸の多重化など、再度災害時に今回以上の被害を生じさせないという観点で、改めて見直しを図っていく必要がある。
- ・水産業施設に関して、ウナギ及びサーモン養殖業者への救済が全くない。今後、気候変動等を踏まえて陸上養殖の拡大も想定されることから、八代でそのような事業者が増えてきた場合に、どのように災害に強い事業構造にしていくのかを検討する必要がある。
- ・プランに位置付けた取組については、今後、進捗状況やロードマップを細やかに示していくことが重要である。現在の検討状況や今後の見通しについて、未確定の部分についても前提条件を付したうえで示し、状況の変化があれば適切に説明していくなど、可能な限り早く情報を公表するよう心がけてほしい。

4. 閉会